

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

## 酸化マグネシウム製剤 適正使用に関するお願い —高マグネシウム血症—

2015年10月

酸化マグネシウム製剤製造販売会社（下記参照）

酸化マグネシウム製剤服用中の患者さんで「高マグネシウム血症」を発症し、重篤な転帰をたどる症例が報告されております。

本剤を**長期間**投与している患者さん、**腎障害**を有する患者さんや**高齢**の患者さんでは**高マグネシウム血症を起こしやす**くなっております。特に便秘症の患者さんでは、**腎機能が正常な場合や通常用量以下の投与**であっても、発症する可能性があります。

つきましては、本剤の投与に際しましては、「高マグネシウム血症」の**発症・重篤化防止**並びに**早期発見**のため、以下の事項にご留意いただけますようお願い申し上げます。

- 処方の際には、**必要最小限の使用**にとどめてください。
- **定期的に血清マグネシウム値を測定**するなど高マグネシウム血症の発症にご注意ください。  
(長期投与あるいは高齢者に投与される場合は特にご注意ください。)
- 高マグネシウム血症の**症状があらわれた場合**には、服用を中止し、**直ちに医療機関を受診**するよう患者さんにご指導ください。\*

### 高マグネシウム血症時の症状

血中 Mg 濃度	症状
4.9mg/dL～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2mg/dL	ECG異常（PR、QT延長）など
9.7mg/dL～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2mg/dL～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など

改変引用：中村孝司，日本医事新報（3540）：177-178（1992）

木村琢磨，JIM 18（11）：942-943（2008）

※ご指導いただく際、リーフレット「酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さん・ご家族の方へ」をご活用下さい。リーフレットは、PMDA又は各社のホームページからダウンロードできます。

協和化学工業株式会社、健栄製薬株式会社、小堺製薬株式会社、株式会社三恵薬品、シオ工製薬株式会社、東海製薬株式会社、東洋製薬化成株式会社、株式会社トライックス、日医工株式会社、日興製薬株式会社、ニプロ株式会社、日本ジェネリック株式会社、マイラン製薬株式会社、丸石製薬株式会社、持田製薬販売株式会社、山善製薬株式会社、吉田製薬株式会社

